【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公開番号】特開2008-236721(P2008-236721A)
【公開日】平成20年10月2日(2008.10.2)
【年通号数】公開・登録公報2008-039
【出願番号】特願2007-313885(P2007-313885)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　29/08　　(2006.01)
Ｈ０４Ｗ　28/18　　(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　13/00　　３０７Ｃ
Ｈ０４Ｑ　 7/00　　２８２

【誤訳訂正書】
【提出日】平成23年4月15日(2011.4.15)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４５】
その反面、両方のリンクが同一のＡＣＭ設定を具備するように制約されているため、いくつかのケースにおいては、リンクの中の１つが準最適に動作する可能性がある。例えば、特定のポリシーにおいては、許容可能な性能を具備するフレームを両方のリンクが生成するように、システムコントローラは、そのチャネル状態が最悪であるリンクから導出されたＡＣＭ設定に両方のリンクを設定している。この場合には、良好なチャネル状態を具備したリンクは、高いスループットを潜在的に提供可能であるにも拘わらず、劣悪なリンクに対してヒットレス保護を提供するべく、相対的に低いデータレートに留まることを強いられることになる。この場合には、保護のために、潜在的なスループットが犠牲にされている。